



福岡県における観光振興の取組みについて

福岡県商工部観光局観光政策課

令和6年3月6日



目次

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状

2 令和5年度における観光振興の取組状況について

3 令和6年度における主な事業について

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_①

● 目指す将来像 ⇒ 「持続可能な観光先進県 福岡」

基本方針

- 1 戦略的なインバウンド誘客による旅行消費額の拡大
- 2 旅行者の県内各地への来訪促進
- 3 デジタルマーケティングの推進
- 4 持続可能な観光の推進

● 目標値 (KPI)

数値目標	2018年(H30)	2019年(R1)	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	現状値		目標達成率	目標値 2023年(R5)
						2023年(R5)	目標達成率		
外国人入国者数	328万人	285万人	33万人	0.6万人	40万人	283万人	78.6%	360万人	
延べ宿泊者数	1,673万人	2,042万人	1,059万人	962万人	1,399万人	(※1) 2,003万人	100.2%	2,000万人	
延べ宿泊者数 (外国人)	337万人	426万人	62万人	10万人	61万人	(※1) 474万人	94.8%	500万人	
旅行消費単価 (通常入国外国人)	57,600円	65,700円	(※2) -	(※2) -	(※2) -	(※4) 85,908円	139.7%	61,500円	
旅行消費額	9,253億円	9,934億円	(※2) -	(※2) -	(※2) -	(※5) 9,580億円	98.8%	9,700億円	
(日本人)	(7,231億円)	(7,996億円)	(2,972億円)	(2,696億円)	(5,477億円)	(6,986億円)			
(外国人)	(2,022億円)	(1,938億円)	-	-	-	(2,594億円)			
観光関連産業の売上金額	7,862億円	(※3) -	(※3) -	6,113億円	(※6) 6,182億円	(※7) -	-	8,200億円	

(※1) 2023年(R5)の延べ宿泊者数は速報値

(※2) 2020年(R2)～2022年(R4)の旅行消費額(単価)は日本人のみ(外国人は調査を中止しているため不明)

(※3) 経済センサス-活動調査の調査対象年ではないため不明

(※4) 2023年4～6月期及び7～9月期の単価の平均値 1～3月期は関係調査未実施のため算出不可、10～12月期数値は未公表

(※5) 日本人の2023年10～12月期分は速報値、外国人は2023年4～6月期及び7～9月期の合算値を2倍したもの 1～3月期は関係調査未実施のため算出不可、10～12月期調査は未公表

(※6) 2022年経済構造実態調査(宿泊業・飲食サービス業)の数値

(※7) 2023年経済構造実態調査(宿泊業・飲食サービス業)の数値は未公表

【出典】

- 外国人入国者数：法務省「出入国管理統計」
- 延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」
- 旅行消費単価：観光庁「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」
- 旅行消費額：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出
- 観光関連産業の売上金額：総務省・経済産業省「経済センサス」

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_②

● 4つの施策に係る目標

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 受入環境の充実 | 3 効果的な情報発信 |
| 2 観光資源の魅力向上 | 4 観光振興の体制強化 |

1 受入環境の充実

成果指標	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年(R5) ※2月末把握値	目標値 2023年 (R5)
全国の延べ宿泊者数に占める福岡県の延べ宿泊者数の割合(外国人)	3.7%	3.2%	2.6%	3.7%	4.1%	4.0%
インバウンド協力店登録数(※)	1,049店舗	1,078店舗	1,079店舗	1,115店舗	1,188店舗	2,000店
ふくおかバリアフリーマップ掲載施設数(※)	—	5,566箇所	5,853箇所	5,926箇所	6,087箇所	9,000箇所

3 効果的な情報発信

成果指標	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年(R5) ※2月末把握値	目標値 2023年 (R5)
SNSフォロワー数(※)	212,259人	293,218人	330,513人	460,336人	501,289人	260,000人
県ホームページセッション数(※)	191万セッション	146万セッション	161万セッション	259万セッション	423万セッション	520万セッション
県ホームページ平均セッション時間(※)	1分05秒	1分13秒	1分07秒	1分00秒	55秒	2分50秒

2 観光資源の魅力向上

成果指標	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年(R5) ※2月末把握値	目標値 2023年 (R5)
日本人旅行消費単価(宿泊客)	61,464円	49,277円	52,919円	59,098円	74,752円	62,000円
旅行商品として販売したインバウンド向け体験プログラムの数(※)	23商品	51商品	84商品	117商品	128商品	30商品
サイクルツーリズムモデルルート数(※)	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所

4 観光振興の体制強化

成果指標	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年(R5) ※2月末把握値	目標値 2023年 (R5)
日本版DMO及びDMO候補法人の数(※)	9団体	11団体	14団体	14団体	14団体	9団体
観光人材育成研修受講者数(※)	244人	846人	1,731人	3,033人	3,793人	累計 3,800人

※年度で集計している項目の現状値(2023年)は単純比較できない。

1 第二次福岡県観光振興指針及び福岡県総合計画の目標と現状_③

福岡県総合計画 における施策名	数値目標名	当初値 (R2年度)	現状値 (R5年度)	目標値 (R8年度)	目標値の考え方
ウィズコロナ・ポストコロナを 見据えた観光産業の 高付加価値化	旅行消費単価（日本人）	36,300円 (R2年)	54,463円 (R5年) ※1	50,800円 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	旅行消費単価（通常入国外国人）	66,000円 (R1年)	85,908円 (R5年4-6月期、 7-9月期の平均)	78,000円 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1）の 水準に戻ると想定
広域ルートの設定・新たな 観光エリアの創出による 旅行消費の拡大	旅行消費単価（日本人） （再掲）	36,300円 (R2年)	54,463円 (R5年) ※1	50,800円 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	旅行消費単価（通常入国外国人） （再掲）	66,000円 (R1年)	85,908円 (R5年4-6月期、 7-9月期の平均)	78,000円 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1）の 水準に戻ると想定
	リピーター率	59.5% (R1年度(参考値))	68.1% (R4年)	65.0%	毎年1%の増（過去3年間に福岡県を 2回以上訪問したと回答した県外在住者の 割合）
デジタルマーケティングの 強化	県の観光情報SNSフォロワー数 （国内向け）	85,008人 （累計）	102,298人 （累計） ※2	200,000人 （累計）	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Twitter、Instagram）
	県の観光情報SNSフォロワー数 （海外向け）	197,570人 （累計）	417,125人 （累計） ※3	400,000人 （累計）	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Instagram、WeChat）
	県の観光情報SNS記事閲覧数 （国内向け）	217万回	187万回	400万回	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Twitter、Instagram）
	県の観光情報SNS記事閲覧数 （海外向け）	400万回	2,717万回 ※3	800万回	現状値の約2倍を目指す （Facebook、Instagram、WeChat）
マーケティングに基づく 戦略的な国内外からの 誘客・県内周遊の促進	延べ宿泊者数（日本人）	1,616万人泊 (R1年)	1,529万人泊 (R5年) ※1	1,772万人泊 (R8年)	R6年度にコロナ前（R1）の値に回復し、 以降順調に続伸
	延べ宿泊者数（外国人）	426万人泊 (R1年)	474万人泊 (R5年) ※1	532万人泊 (R8年)	R6年度にインバウンドがコロナ前（R1） の水準に戻ると想定
	リピーター率 （再掲）	59.5% (R1年度(参考値))	68.1% (R4年)	65.0%	毎年1%の増（過去3年間に福岡県を 2回以上訪問したと回答した県外在住者の 割合）
観光人材の育成、 観光組織体制の強化	観光地域づくり法人及び観光地域づくり 候補法人の数	11団体 （累計）	14団体 （累計）	17団体 （累計）	県内のDMO数は平均的であるため、 年1件の新規登録を目指す

※1 R5年は速報値

※2 R6年2月27日時点

※3 R6年1月31日時点

2 令和5年度における観光振興の取組状況について ①

1 受入環境の充実

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援

- ① 宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援 【支援件数：45件】（R6.2.29時点）
 - ・「福岡県中小企業生産性向上支援センター」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置
 - ・宿泊専門のアドバイザー（4名）を設置し、今後の観光需要回復期における需要を確実に取り込むため、業務効率化などの現場の改善だけでなく、サービスの向上や新事業展開といった売上向上に関する支援を実施。
- ② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援 【補助件数：34件】（R6.2.29時点）
 - ・上記①のアドバイザーによる支援を経て課題解決に取り組む中小宿泊事業者が実施する生産性向上に資する設備導入等に対し補助
 - ・補助率：1/2、補助上限額：300万円

■ MaaSを活用した観光客の周遊促進

- ・日田彦山線エリア、久留米エリア、有明エリアの3地域において、デジタル乗車券と地域の特典が一体となった企画乗車券を販売



■ ユニバーサルツーリズムの推進

- ・ユニバーサルツーリズムを推進する意義や、取組を通じたマーケットの拡大等について理解を深めるセミナーを実施【参加者数 85名】
- ・アドバイザーの派遣による伴走支援【支援件数 13件】（R6.2.29時点）

2 令和5年度における観光振興の取組状況について ②

2 観光資源の魅力向上

■ 統一的なテーマ設定による資源開発と商品造成を支援

- ・ 県内6地域に設定した広域観光エリアにおいて、各エリアの強みを活かしながら、他地域との差別化を図るための“尖った”観光テーマを設定し、観光客のニーズに沿った体験プログラムの磨き上げ等を行い、「食べる、遊ぶ、泊まる」を一体的に楽しめる本県の新たな“観光の核”となる地域づくりを推進
- ・ 広域観光エリアにおける体験プログラム開発や受入環境整備、観光消費促進に関する事業を実施する観光関連事業者を支援
※ 補助率1/2、上限200万円、支援件数23件（R6.2.29時点）
- ・ 古民家や自然景観とアクティビティを組み合わせたグランピング等の新規整備又は改修を実施する宿泊事業者を支援
※ 補助率1/2、上限1,000万円、支援件数5件（R6.2.29時点）

■ 各エリアの概要

エリア	エリアを構成する市町村	テーマ/主な取組内容
筑前玄海エリア	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	「イカのまち」/多様なイカの食メニューの開発、フェアの開催
八女・筑後・広川エリア	八女市、筑後市、広川町	「クラフトのまち」/伝統工芸品、八女茶、焼酎等の職人との対話を取り入れた体験プログラム開発
飯塚・嘉麻・桂川エリア	飯塚市、嘉麻市、桂川町	「エネルギーの源があるまちココロとカラダの健康～」/アウトドアアクティビティと食(たんぱく質中心)の体験プログラム開発
京築エリア	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	「神楽の里・鬼すごい京築」/豊前神楽にちなんだ「鬼」を強調語の意味で使用し、体験プログラムを開発
久留米・うきは・朝倉エリア	久留米市、うきは市、朝倉市	「ヘルス&ビューティーのまち」/温泉、フルーツ、ハーブ、きれいな水等の体験プログラムを開発
日田彦山線BRT ひこぼしライン沿線エリア	東峰村、添田町	「ものづくりと修験の文化が息づくまち」令和5年夏開業予定のBRT開通時における観光プロモーションを視野に、観光資源開発・旅行商品造成等を推進

■ 体験プログラムの一例

【筑前玄海エリア】

【八女・筑後・広川エリア】

【飯塚・嘉麻・桂川エリア】

【京築エリア】

【久留米・うきは・朝倉エリア】

【ひこぼしライン沿線エリア】



イカ王国筑前玄海イカフェア



坂田織物工場見学
ストール藍染体験



アドベンチャーチャレンジ!



奉納神楽
大蛇退治



日本酒づくりを体感できる
日帰りサウナプラン



英彦山神宮
朝のおつとめ体験

2 観光資源の魅力向上

■ 福岡・大分DCIに向けた観光資源の磨き上げ

複数の市町村が連携して取り組む広域観光ルートの開発を支援

・共通の「観光テーマ」を設定した福岡県内の2つ以上の市町村、観光団体（観光協会・DMO等）が連携して実施する体験プログラムの開発、プロモーション等の取組みを支援

【申請件数：5件】（R6.2.29時点）

【申請テーマ】

協議会等名称	構成市町村	主な取組内容
「立花宗茂と閻千代」NHK大河ドラマ招致委員会	柳川市、みやま市、久留米市、大牟田市、八女市、筑後市、大川市、うきは市、太宰府市、古賀市、大木町、広川町、新宮町、久山町	立花宗茂公と閻千代姫のゆかりの地を巡る、広域観光ツアーを造成
筑後シェアサイクル協議会	八女市、筑後市、柳川市	シェアサイクルの導入、駐輪場などの環境整備、メディアやSNSでのプロモーションを実施
福岡「森と文化」推進協議会	豊前市、篠栗町	「森の文化（修験道・お遍路等）」をテーマに、体験コンテンツ（森林浴+d）の開発・造成&磨き上げやプロモーションを実施
平成筑豊鉄道沿線サイクルトレインを活用した観光振興検討会	直方市、行橋市、赤村、みやこ町	平成筑豊鉄道サイクルトレインの定期運行実現に向けた検討や、沿線周遊促進策を検討
日本遺産「古代日本の『西の都』」観光活性化検討会	太宰府市、筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市、宇美町	日本遺産『西の都』のストーリーに沿ってガイドができる人材の育成及びガイドツアーのプロモーションを実施



立花宗茂公と閻千代姫のゆかりの地を巡るバスツアー



八女シェアサイクル



豊前森林セラピー



サイクルトレイン「黒銀」



西の都ガイド講習会

2 観光資源の魅力向上

■ サイクルツーリズムの推進

① ディスカバー九州

- ・令和5年秋に開催する国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」を契機として、サイクリング周遊型旅行商品を展開する「ディスカバー九州」を実施。
- ・個人向け販売商品38コース、団体向けモデルプラン10コースの他、特別企画として、開業前の「BRTひこぼしライン」の専用道を含むコースを走るサイクリングツアー「BRTひこぼしライン専用道ライド」を7月2日に開催

【販売実績】 221人（R6.2.29時点）

② 台湾のサイクリストの誘客促進

- ・福岡県への旅行者が多く、サイクルツーリズムが盛んな台湾のサイクリスト向け旅行商品を造成

【誘客実績】 152人（R6.2.29時点）

③ サイクリングツアーに対応したガイド資格取得に向けた講習会の実施

【概要】サイクリングツアーを安全かつスムーズに引率できるサイクリングガイドを育成するための講習会を実施

【実施日時】 R5.5.10～11、R5.6.14～15の計4日間

【実績】 受講者数：11名

- ※うち8名は（一社）日本サイクリングガイド協会（JCGA）の公式サイクリングガイドとして認定。さらにそのうち2名は、JCGA最高位のサイクリングガイドマスターとして認められた。



DISCOVER
KYUSHU

公式サイト



2 令和5年度における観光振興の取組状況について ⑤

9

3 効果的な情報発信

■ 福岡・大分DCに向けた観光事業の強化

① 全国宣伝販売促進会議の開催

【目的】

全国の旅行エージェントに対し、福岡・大分各地域で磨き上げた観光素材を売り込み、来春開催のDC期間及びその後の旅行商品造成拡大による観光客誘致を図る

【開催概要】

日時：R5.5.10

場所：別府コンベンションセンター「ビーコンプラザ」

参加者：477名

【主な内容】

- ・商談・観光PRブースの設置
- ・プレゼンターによる観光プレゼンテーション
- ・歓迎レセプションの実施 等



玄界灘のイカ『一本槍』



【コース例（県単独コース）】

	行程	宿泊施設
5/10 (水)	全国宣伝販売促進会議/全体会議（別府市内） == ホテル 19：10頃 21：10	HOTEL CULTIA 大宰府 (福岡県太宰府市宰府 3-3-33)
5/11 (木)	ホテル == 太宰府天満宮・竈門神社 == (車窓:新原・奴山古墳群) = 7：50 7：55~8：30 == 宗像大社神職特別ガイドツアー・★カナディアンキャンプ(乗馬体験) == 海辺の料理旅館はつしろ(昼食) == 10：30~12：40 13：00~13：50 == ★フルーツライド(サイクリング&いちご狩り&スイーツ作り体験) == ★芦屋釜の里(抹茶点て体験) == 14：00~15：40 16：00~16：50 == 脳田温泉着 ホテル到着後★追い出し猫絵付け体験 17：45	脳田温泉 桶水閣 (福岡県若海市脳田507)
5/12 (金)	脳田温泉 = ★くらはて学園(コスプレ体験など) = (車窓:官宮八幡製鐵所遠賀川水源地ポンプ室) == 旧伊藤伝右衛門邸 = 8：00 8：20~9：00 9：40~10：20 == ★平成筑豊鉄道・金田駅舎(爆破ツアー体験) == ホルモン鍋(昼食) == 田川市石炭・歴史博物館 == 10：50~11：35 12：00~12：45 13：00~13：40 == 香春神社(九州オルレ・香春コース) == 平尾台(千仏鍾乳洞探検&アウトドア施設) == 【解散】小倉駅 14：00~15：00 15：40~17：00 18：00頃	【お食事】 1日目：朝×昼×夕× 2日目：朝×昼×夕× 3日目：朝×昼×夕×

② エクスカーションの実施

【概要】

日程：R5.5.10~5.12

コース：6コース

(福岡・大分合同3コース、福岡単独3コース)

参加者：118名

3 効果的な情報発信

③ 「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」共同記者発表会の開催

【概要】

日程：R6.2.19

場所：ホテル日航福岡

出席者：服部福岡県知事、佐藤大分県知事、古宮JR九州社長

参加報道機関：14社

主な発表内容：

- ①福岡県内発着のバスツアー「よかバス」の運行開始、公式サイトオープン
- ②DCにおける福岡県内の経済波及効果：230億円
- ③楽天トラベル、じゃらん.netにおけるDC特別宿泊プラン・クーポンの発行 他



よかバス公式サイト



福岡 NEWS WEB

国内最大級観光キャンペーン 4月～福岡・大分両県共同開催

02月19日 19時24分



ことし4月から、福岡県と大分県で共同開催される国内最大級の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」の概要が19日発表されました。福岡県では県内の観光スポットをめぐるバスツアー「よかバス」が300本以上、用意されるほか、大分県ではアート作品と一緒に旅を楽しめる企画など、期間中、両県でさまざまな観光イベントが展開されます。

3 効果的な情報発信

国内誘客プロモーションを推進

① 「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン及び「福岡平日おトク旅」の実施

	「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーン	「ふくおか平日おトク旅」観光キャンペーン
利用期間	R5.1.10～R5.10.21 ※1	R5.12.1～R6.2.16 ※2
目標人数	110万人	9万人
利用対象者	全国 ※条件：本人確認書類の提示（R5.5.8以降）	指定なし
内容	①補助額 県内宿泊・旅行代金の20% ・交通付き宿泊商品 最大5,000円/泊 ・宿泊のみ 最大3,000円/泊 ・日帰り 最大3,000円/1回 ②助成方法 ・登録宿泊施設での直接割引 ・宿泊予約サイト ・全国の旅行会社で割引商品販売 ③地域クーポン券 ・平日2,000円、休日1,000円	①補助額 県内宿泊・旅行代金の20%（1人1泊あたり最大3,000円） ※日帰り旅行は対象外 ②助成方法 ・登録宿泊施設での直接割引 ・宿泊予約サイト（楽天・じゃらん） ・県内の旅行会社で割引商品販売 ③地域クーポン券 なし

※1 4/29～5/7を除く

※2 12/29～1/3、土曜日、1/7（日）、2/11（日）を除く



② ワンヘルス・SDGS学習に対応した修学旅行商品の造成支援

- ・ワンヘルス学習用のワークブックを作成するほか、今年度改定した修学旅行パンフレットにワンヘルス関連スポットを追加
- ・また、修学旅行商品造成を促進するため、旅行会社を対象としたワンヘルス・SDGS学習を盛り込んだモニターツアーを実施

【実施期間】 R5.7.25～26

【主な訪問先】

ワンヘルスの森（四王寺県民の森）、筑前町立大刀洗平和記念館、太宰府天満宮、グローバルアリーナ、ぶどうの樹、TOTOミュージアム 等

【参加者数】 8名



3 効果的な情報発信

■ インバウンド需要を開拓

① SNS等を活用したデジタルプロモーション

- **観光情報サイト「VISIT FUKUOKA」**（英語、韓国語、中国語（簡）、中国語（繁））
 - ・外国人ライターによる記事の作成
 - ・訪日関心層をサイトへ誘導するための広告配信
 - ・ビッグデータを活用し、サイト訪問後の行動分析（宿泊・フライト予約数等）を実施
- **観光情報SNS**（英語、中国語（簡）、中国語（繁））
 - 各国で利用の多いSNSを活用し、市場の嗜好に合わせた情報を発信
- **福岡・大分DCを活用したインバウンドプロモーション**（Instagramキャンペーン）
 - 福岡・大分の写真をInstagramに投稿すると周遊パスなどが当たるキャンペーン実施

② 海外旅行博・商談会等でのプロモーション

韓国、中国、台湾、香港といった東アジア、タイ、ベトナム、シンガポールなどの東南アジア、豪州、イギリスやフランスなどの欧州などで開催される旅行博への出展や、商談会の開催等により、広くプロモーションを実施。

○ VISIT FUKUOKA NIGHT（豪州での県観光セミナー）

【概要】

日時：R5.8.8

場所：シドニー市内の日本食レストラン

参加者数：約50名（現地旅行会社・メディア等）

【内容】

- ・豪州在住のトラベルジャーナリストによる福岡・九州の観光の魅力についてのプレゼンテーション
- ・福岡の自転車チームで活躍する豪州出身のプロ選手による「ツール・ド・九州2023」のPRや、福岡のサイクルツーリズムの魅力の発信
- ・福岡の食と県産酒をペアリングしたメニューの提供 等



観光情報サイト
「VISIT FUKUOKA」



3 効果的な情報発信

③ 海外メディア等を活用した観光プロモーション

- ・7月にタイのアイドルグループ「BNK48・CGM48」の選抜メンバーを招請し、観光PR動画を撮影
- ・8～11月にかけてyoutube・TikTokに掲載
【再生数：約380,800回】



【選抜メンバーによるPR動画】

■ 伝統的工芸品など県産品の認知度向上・販路拡大

- ・首都圏をはじめ全国で実施する福岡県物産展において、新商品のトライアル販売コーナーや、DC、サイクルツーリズム等の観光PR特設コーナーを設置
【開催実績】

実施時期	会場
R5.6.22～6.28	東急百貨店 たまプラーザ店(神奈川県横浜市)
R5.9.27～10.2	京王百貨店 新宿店(東京都新宿区)
R5.10.12～10.17	東武宇都宮百貨店 宇都宮本店(栃木県宇都宮市)
R5.11.28～12.4	高島屋 京都店(京都府京都市)
R6.1.10～1.16	ながの東急百貨店(長野県長野市)

【売上額：218,177千円】



【トライアル販売コーナー】



【観光PR特設コーナー】

4 観光振興の体制強化

■ 観光団体のDMO化を加速

① DMO本登録に必要な専門人材の育成講座を実施

・DMOの役割を担うために必要な「観光戦略策定・データ分析」、「デジタルマーケティング（プロモーション）」の専門人材を育成するため、県内の市町村や観光団体等を対象に、「ふくおか観光地域づくり共創塾」を開講。

受講者数：延べ36名

② DMO登録要件等に関する相談・指導を行うワンストップ支援窓口を設置

【概要】

- ・DMO候補法人等を対象に、事業計画実施に向けた個々の課題を解決するための幅広い相談を受け付ける「ワンストップ支援窓口」を設置。
- ・県内観光協会等のDMO登録要件に関する相談を受け付けるほか、その課題内容に応じた専門家を派遣。

【支援内容の例】

- ・DMOの機能や役割についての説明、課題抽出のためのヒアリング、DMO登録に向けたロードマップ作成 等

支援団体数：1団体



【ふくおか観光地域づくり共創塾の様子】



【ワンストップ支援窓口による相談対応の様子(篠栗町)】

4 観光振興の体制強化

■ 宿泊、飲食事業の人材育成を支援

・ハラール、ヴィーガンといった多様な食文化の普及啓発やメニュー開発に向けた支援を実施

① 食の多様性対応セミナーの実施

・食の多様性にかかる市場の最新動向や、外国人の文化・習慣等に配慮した接客等について学ぶとともに、福岡ならではの食材を活用したメニュー試食会も実施

【開催実績】

日程		テーマ
【Day1】	8/31(木)	食の多様性市場の最新動向と福岡での対応方法(基礎編)
【Day2】	9/6(水)	Day1の応用編、福岡ならではの食材を活用したメニュー試食会
【Day3】	10/11(水)	Web、SNS、Googleマップ活用術
【Day4】	11/15(水)	外国人の文化・習慣に配慮した接客のポイント

【参加者数：149名】

② メニュー開発支援

・①のセミナー参加者から募集を行い、専門アドバイザーが福岡名物などの既存メニューを活かしたメニューの開発や、食の多様性に配慮した食材・調味料の仕入れ先の開拓方法等について助言

【支援件数：19件】



【セミナーの様子】



【豚骨風ラーメン(ヴィーガン対応)】

3 令和6年度における主な事業について ①

※県議会で審議中

16

1 受入環境の充実

■ 多言語翻訳機の設置による旅行動向の分析

- ・福岡空港国際線、博多駅の観光案内所に多言語翻訳機を設置し、多様な言語での対応を可能にするとともに、会話ログデータから旅行者のニーズや最新トレンドを把握・分析

■ ユニバーサルデザインタクシーの導入支援

- ・国内外からの旅行者を含め、福岡県でタクシーを利用するすべての人が安心して円滑に移動できる環境を目指し、タクシーのバリアフリー化に対する助成を実施

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援 (継続)

- ・宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援
- ・宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援



【ユニバーサルデザインタクシー】

2 観光資源の魅力向上

■ 新たな観光地域づくりの推進

- ・県内6エリアの周遊を促進する情報発信拠点の整備を支援

■ サイクル・トレイルツーリズムを推進

- ・ツール・ド・九州を契機とした、豪州・韓国からのサイクリスト誘客促進のための旅行商品の造成やプロモーションを実施
- ・地域のサイクリングイベントの多言語化を支援
- ・サイクリングツアーの企画支援やレンタサイクル、ガイド、サポートカーの手配をワンストップで行う「FUKUOKAサイクリングツアーコンシェルジュ（仮称）」を開設



【インバウンドサイクリストの誘客促進】

3 戦略的なプロモーション

■ 福岡・大分デスティネーションキャンペーン(DC)の開催

- ・ オープニングイベント及びセレモニーの開催
- ・ オンライン旅行会社に特設ページを掲載し、宿泊割引を実施
- ・ 県内周遊バス旅行商品サイト「よかバス」を開設し、県内周遊促進のためのバス旅行商品を造成する
県内旅行会社を支援（DC終了後も引き続き実施）

■ 観光客の県内周遊・宿泊を促進（継続）

- ・ 閑散期の平日に観光客を呼び込むため、旅行代金等の一部を助成
（割引率：宿泊・旅行代の20%、割引上限額：3千円、実施時期：12月～2月（年未年始は除く））

■ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施

- ・ 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進
（豪州：教育旅行の誘致、英国：現地旅行会社と連携した誘客、米国：クラフトツーリズム商品の開発、
仏国：インフルエンサーを活用した魅力発信）
- ・ 台湾・香港・韓国のインフルエンサーを活用した広域観光エリア動画の配信
- ・ タイ・バンコク都における観光プロモーション及び現地旅行会社向け商談会の開催

■ 伝統工芸品ファン獲得・販路拡大

- ・ 「福岡伝統工芸ファンクラブ（仮称）」を創設し、SNSを通じた情報発信を行うとともに、生産者と
交流する特別感のある産地訪問ツアーを実施
- ・ フランス・パリにおける伝統工芸品のテストマーケティングの実施



至福の旅！
大吉の旅！
福岡・大分

福岡・大分デスティネーションキャンペーン

【福岡・大分DCロゴマーク】



よかバス

【よかバスロゴマーク】

4 観光振興の体制強化

■ 観光業の人材育成・雇用促進

- ・ 宿泊業の人材不足解消に向けたインターンシップの導入支援、合同会社説明会の実施
- ・ 地域観光のリーダーを育成するため、九州産業大学が実施する人材育成プログラムの受講料の全額を助成
- ・ 宿泊施設従業員を対象としたおもてなし研修の実施

■ 観光ビッグデータを活用した旅行実態の把握

- ・ 金融機関のカード決済データを活用し、外国人観光客の国別、業種別の消費動向を調査



【合同会社説明会のイメージ】